

平成30年火薬類事故(速報)

〔 I 〕 総括表(取扱・種類別一覧表)

平成30年4月30日 現在

項 目		事故件数		死亡者数		負傷者数	
取 扱	種類別	件数	計	人数	計	人数(重-軽)	計
製造中	産業火薬	0	} 1	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	1		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
消費中	産業火薬	4	} 5	0	} 0	0 - 1	} 0 - 1
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	1		0		0 - 0	
運搬中	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
貯蔵中	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
がんろう中	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
その他事故	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
合 計	産業火薬	4	} 6	0	} 0	0 - 1	} 0 - 1
	煙 火	1		0		0 - 0	
	がん具煙火	1		0		0 - 0	

〔Ⅱ〕 事故一覧

(産業火薬)

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	1月18日 16:05頃	群馬県 高崎市	0	0 - 1	C1	実験用施設(屋外)で、火薬の燃焼実験のため黒色火薬 30g を袋に入れ地面に置いた状態で、発煙筒を使用して火薬の上から火を点けたところ、燃焼火薬が吹き上がり、1名が I 度の顔面火傷を負った。
2	2月13日 21:00頃	神奈川県 横浜市	0	0 - 0	C1	高速道路上で道路の補修作業をするために通行止め規制帯を設置中、燃えているカラーコーン、矢印板及び土嚢袋を発見し、車に積載されている粉末消火器を使用して初期消火を実施。何らかの理由により通行規制帯で使用中の信号えん管が移動したために、信号えん管の炎がカラーコーンに接触して出火したものと推定される。
3	4月2日 16:40頃	福岡県 飯塚市	0	0 - 0	C2	ベンチ発破(ベンチ高さ10m、孔径76mm、孔数15(3列)孔、孔長11m、孔間隔2.5m、最小抵抗線3.0m)を行ったところ採石場敷地外へ飛石(4個 最大径15cm程度)が発生したものの。
4	4月10日 16:40頃	北海道 小樽市	0	0 - 0	C1	採石場内の連絡道路を拡張するため(道路を塞ぐように大岩があったため)、発破を行ったところ、採石場内の岩壁を越え、付近の自動車道まで飛び石が発生。走行していたトラックの屋根に石が突き刺さったもの。
合計		4件	0	0 - 1		

(煙火)

製造中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	2月14日 15:00頃	三重県 熊野市	0	0 - 0	C1	鉄製のパイプに火薬をつめて燃焼試験を行っている最中に、火の粉が風に乗れり、試験場所から道を挟んで向かいにある田んぼの枯れ草に燃え移った。その後、消防により鎮火された(火災認定あり)。
合計		1件	1	0 - 0		

(がん具煙火)

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	3月28日 13:12頃	岡山県 井原市	0	0 - 0	C2	猪を嚇すためがん具煙火(爆竹20連)を使用したところ、周囲に飛び散った爆竹の火花が刈草に着火し、風に煽られ延焼が拡大したもの(火災認定があるかは確認中)。
合計		1件	0	0 - 0		